

【競技規則】

※第23回全日本スノーボード技術選手権大会の競技規則に準ずる。

《公式用品用具の使用について》

- ① 選手はSAJ公式用品委員会において設定された用品・用具を使用し、用品・用具に表示される商標及び社名はSAJ規程によるもの以外は認めません。ただし、本項の規制範囲は、開・閉会式等の公式の場所及び競技会場内(コートオープン含む)とします。「SAJ公式用品加入ブランド」は『SAJHP』⇒『ライブアリ』⇒『マーケティング』からご確認ください。
- ② プレートは市販商品の正常な使用方法に限ります。
- ③ 出場する選手が本大会の予選種目から決勝種目まで使用できるスノーボードは計2台までとします。
- ④ 選手が着用を許されるウェアは市販されている、あるいはルーズフィットなものとし、レーシングスーツ(ワンピースやツーピース)は認めません。
- ⑤ コマーシャルマーキングについては、本連盟指定の様式にて申請し承認されたもののみ着用できます。

《ヘルメット等の着用について》

- ① 競技中は頭部を防護する為、すべての競技において必ずヘルメットを着用すること。

《ビブの着用について》

- ① インスペクション等でコート内に入る場合は必ずビブを外側に着用すること。

《スタートの要領について》

- ① 選手は各種目ともスタート地点に10分前に集合し、スタート審判の点呼を受け、応答すること。

- ② 選手は前者のスタート後、ただちにスタート位置につき準備を整えること。

- ③ 選手はスタート審判の合図によりスタートします。ただちにスタートしない場合は当該種目を棄権したものとみなします。

《フィニッシュの要領について》

- ① フィニッシュはコートの下部の左右にある目印を結ぶフィニッシュラインの通過をもって演技終了とします。

- ② 小回り種目については、フィニッシュライン通過後にスピードコントロールし、完全停止をもって演技終了とします。

《コートインスペクションについて》

- ① コートインスペクションに関する規程は、TCMで詳細をお伝えします。

《抗議について》

- ① TCMにて詳細をお伝えします。

《その他》

- ① その他必要がある事項は別途定め、TCMで提案、承認を受けることとします。

《コマーシャルマーキング(CM)申請》

- ① ヘルメットには、ワッペン又はシールを2枚(2種類)/3枚まで付けることができます。その合計面積は100cm²以内とし、1枚の最大面積は50cm²以内とします。25cm²以下のデザインを利用すれば最大3カ所に取り付け可能です。(縦横のバランスは問いません)
取付可能箇所は、ヘルメット正面(額部)/正面上部(額~頭頂部の間)/側頭部とします。ただし、ヘルメットメーカーのロゴが隠れてはなりません。2種類のデザインは、2枚とも同じ企業(デザイン)のマークでも可能、2枚が異なった企業(デザイン)のマークでも良いです。
また、同じ企業(デザイン)でサイズ違いのマークも可能です。
- ② ウエアの腕にサイズ50cm²以内(縦横のバランスは問いません)のマーキングスペースを合計2カ所までつけることができます。1カ所のみ付ける、もししくは無しでも可能です。マーキングスペースは2カ所を左右の袖に分け付けることもでき、2カ所ともどちらか片側の袖に付けることもできます。1カ所のみ付ける場合は左右どちらの袖に付けるかの指定はありません。マーキングスペースには、同じ企業(デザイン)のマークでも良いです、2枚が異なった企業(デザイン)のマークでも良いです。また1枚のワッペンに複数のスポンサー名を表示することも可能です。ただし、ウェアメーカーのロゴが隠れてはなりません。また、ビブ着用時に隠れて見えなくなるものに関しては申請する必要はありません。
- ③ たばこ、ドラッグ(大麻等の違法薬物)、ギャンブル又はアルコール等や主催者が不当と判断するものについては認められません。
- ④ コマーシャルマーキングの違反については、未申請のワッペン、シール取り付けを発見した場合、速やかにTDまたは競技委員長へ報告。競技委員長が警告し、直ちに修正出来ない場合、組織委員会に報告の上で失格といたします。コマーシャルマーキング対象用品は次のものとします。
・ヘルメット
・ウェア

《マテリアルチェックについて》

- ① 加盟団体の代表者(監督又はコーチ)が参加選手のマテリアルを確認し、選手受付時に、マテリアルチェックシート(加盟団体毎)を提出する。
- ② マテリアルの違反については未申請の用品・用具使用を発見した場合、速やかにTDまたは競技委員長へ報告。競技委員長が警告し、直ちに修正出来ない場合、組織委員会に報告の上で失格といたします。※マテリアルチェック対象用品は以下のものとします。
・スノーボード(板)台数上限2台
・ブーツ

《演技の中止等について》

- ① 演技を中断した場合は、その位置で体勢を整え再スタートする。中断が長引く場合は審判長の指示に従う。
- ② 選手は、係員の補助を受けることができる。
- ③ やむを得ず途中棄権をする場合は、その旨を係員に告げ、速やかにコート外に移動する。この場合は当該種目の得点は0点とするが、次の種目からの出場権は維持される。

《斜面の設定について》

- ① 競技斜面はその条件を満たせる設定を行う。
- ② 種目の規制要領は、別途提示する。

《審判員・審判方法などについて》

- ① 競技種目の採点は公開表示による1ジャッジ20点満点の5審判5採用=100点満点で評価を実施

《大会中の日程変更について》

- ① 会期中天候やその他の状況によって実施方法、コート変更する場合がある。その場合は競技委員会で決定する

《広報・提示などについて》

- ① 大会の成績及び変更内容は、公式掲示板に提示する。(SNS等活用)

《順位の決定》

- ① 3種目の合計点で決定する。(予選は最低1種目で競技成立とする)※同点の時は次の方法により上位者を決定する。
・フリーライディングの得点上位者とする
・上記フリーライディングで決定しない時はショートターンの得点上位者とする。
・上記ショートターンで決定しない時はミドルターンの得点上位者とする。
・上記で決定しない場合は同順位とする。

《表彰》

- ①男子総合:男子6位

- ②女子総合:女子6位